

社福法人の公益活動

その4

◆法人情報◆

本部所在地
長岡市深沢町字高寺2278-8
電話 0258-46-6053
FAX 0258-46-6402
http://
www.nagaokafukusi.com

地域啓発活動「まちのね」から人にやさしい街づくりへ

社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園

特別養護老人ホームこぶし園は昭和57年に入所定員100名で開設し、入所部門だけでなく、住み慣れた自宅や地域で、その暮らしを暮らしを支えるために在宅サービスも強化してきました。平成14年には複数の機能を併せ持つ小規模施設として、長岡市三和地区に「サポートセンター三和」を初めて整備しました。また、郊外の大規模施設から住み慣れた地域で生活を送るために、平成18年特区申請でサテライト型特養を整備し、こぶし園から15名の入所者が移動し特養の地域分散がスタートしました。



喜多町での様子

その後地域密着型特養を3カ所、広域型特養を移転増床し、郊外の特養からの地域分散が終了しました。現在は長岡市内のサポート

センター18カ所において、それぞれの地域で介護保険事業を展開しています。また、介護サービスの提供だけでなく、地域住民が介護や認知症に対する理解を深める活動にも力を入れていきます。こうした活動は「まちのね」と称し、街に根が広がるように福祉の理解が深まり、人にやさしい街づくりをしたいという思いが込められています。以前から介護教室や認知症サポーター養成講座への講師派遣等、地域の啓発活動に取り組んできましたが、「まちのね」としてスタートしたのは、



上除での様子

平成25年12月のサポートセンター上除からです。認知症の人や家族、周辺にお住いの人が参加し、専門職の講座や参加者同士の交流を深めています。平成27年5月からは長岡市が市内4カ所で実施しているオレンジカフェのひとつとして、「まちのねオレンジカフェ」上除」として活動しています。同センターでは近隣の郵便局の職員からも参加してもらい、認知症の人への対応の仕方を理解してもらいました。地域で認知症の人を

支えるため、文字通り街に根づいた活動をしています。

サポートセンター上除の他では、喜多町・三和・永田・榎田屋・川崎・美沢の各サポートセンターで「まちのね」を実施しています。平成27年度は認知症や介護保険制度、看取り等をテーマにした講義や高齢者向けの料理教室を実施しました。講義だけでなく、例えば喜多町では認知症の人の事故防止について、座談会形式で参加者と意見交換をしました。誰もが暮らしやすい街づくりに貢献できるように、これからも「まちのね」を実施してまいります。

ご興味のある方は是非サポートセンターにお立ち寄りください。

こぶし園ホームページ
<http://www.kobushien.com/>

(本部事務局経営企画部長
竹之内隆明)